



















ああ……♡♡

ああ……♡♡

ああん♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

くちゅ♡

(あああ……♡♡♡ あああん♡♡♡
 どうしよう……♡♡♡ 気持ちいい……♡♡♡
 っっておもっちゃった……♡♡♡
 こんなひどいことされてるのに……♡♡♡
 もっと感じたい……♡♡♡ あああん♡♡♡
 ああ……♡♡♡ 頭が変になってる……♡♡♡
 この……♡♡♡ 男の人の……♡♡♡ ち○ぽ♡♡♡
 ああ……♡♡♡ きもちいい……♡♡♡
 ああ……♡♡♡ きもちいい……♡♡♡
 おち○ぽ……♡♡♡ きもちいいよ……♡♡♡
)





あーあーあー

だっだっだっ

ええええええ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ





















(ちよつと！ 何！何の冗談？
この状況なにツ？なんでこんな奴に
私…こんなことされてるのよおツ！
信じられない！こんなことされたら
マハトマにあわす顔がないじゃない！
やだやだやだあ！！！！ なんてえ！
目が覚めたら躰が言うこと聞かない…
こいつ私に何したああ…！)



（ち、乳首い……♡♡♡ あああん♡♡♡
何い……♡♡♡ こんなことされて♡♡♡
うそ？ 私の躰、喜んでるの？♡♡♡
ち、違うの……こん……私こんなんじゃ♡♡♡
私こんな端ない女じゃ……ないのに……♡♡♡
どうして……もしかして……♡♡♡ 令呪……♡♡♡
なんで……♡♡♡ じゃあマスターは？♡♡♡
やだ……♡♡♡ なんにも考えられない♡♡♡）



あ♡♡♡

あ♡

あ♡♡♡

あ♡♡

あ♡♡♡♡

(はああ：♡♡♡♡♡ はあああ♡♡♡♡♡
 もう：これ以上は：♡♡♡♡♡ なんか…
 頭がおかしくなるのがわかる…♡♡♡
 なにかが私の頭を支配する感じ…♡
 もう限界：♡♡♡ あああ…♡♡♡
 軀全部がコイツのものにたれてく…♡
 あああ♡♡♡♡♡ 力が抜けてく…♡
 はああ♡♡♡♡♡ ああん♡♡♡♡♡)
 ♡♡♡♡♡











あぁん♡

あぁん♡♡

あぁん♡♡

ん♡♡

♡♡

ん♡♡

あぁん♡

ん♡♡

ぐ♡♡

(ああ…わたくしの膣内にますたぁー以外の
ち○こが入ってるなんてえ…♡♡♡
だめえ…こんなのいけませんわぁ…♡♡♡
でも逆らえないんですぅ…♡♡♡
今まで感じたことがない悦びが溢れてくる♡
ごめんなさいますたぁー…わたくしの子宮が
このち○こに恋しちやったみたいですよ♡♡♡)



あ♡♡♡

あ♡♡♡

あ♡♡♡

ん♡♡♡



ん♡♡♡

あ♡♡♡

ん♡♡♡

♡♡♡

(ああ：ん♡♡♡ ああん♡♡♡
膣内が掻き回されて：ん♡♡♡
わたくし、もう気持ち良すぎてえ
頭がおかしくなりそうです♡♡♡
清姫はあ：淫乱で♡♡♡はしたなくて♡♡♡
だらしのない女なんです♡♡♡
このち○で欲しくて：愛おしくて♡♡♡
仕方のない♡♡♡ああ♡♡♡わたくし
もうこのち○の虜になってしまいました♡♡♡)



あ
あ

あ
あ
ん

あ
ん

(きたきたきたきたああああああ
ああああああああああああ
奥にたくさんきましたああああああ
いくいくいくいくいくいくいく
いっちやううううううううう
子種が膈内にあふれてくるうううう
うううううううううううううう)

あ
あ
あ

あ
あ
あ



















「いやあああああ！
やめてください！大人の私ならまだしも
今の私に手を出したら犯罪ですよ！変態！
アナタが誰ですか？なんでアナタが
令呪持っているんですか？マスターわ？
私のマスターはどようしちやっただんですか？
やだやだ！触らないでください！
（ますたあー助けてますたあーこわいです
はやくはやくきてえええ）

「いやあああああああああああああ
あああああああああああああああ！
やめろおおお！いたいいたい
こわいこわいよおおお！
ひひどい！ますたあー！
ますたあー！たすけてえ！
（なんなのこの人…マスターはどうしちゃった
んです？ううう、令呪のせいで体が動かない）」



ズ
ッ
♡

♡
♡
♡

(あれ？なんですか？怖いはずなのに…
これが令呪の効果？怖いのが薄れていく…？
ああ…？あれ？痛いと思ってたはずなのに
きもちいい？うそ？きもちいいって？
私のんなこと思っちゃってるの？
うそうそうそ！私そんなはしたなくないです
でも…でも…でもお…
ああ…喜びになってる…
痛みが…喜びになってる…
胸がキュンキュンする…)

ああ♡

キュン♡

キュン♡

















はあ♡

ダメだって...♡ わかってるのに♡
きもちいい...? そんなの嫌...♡
でも...♡ 嫌なはずなのに♡
すごい...♡ 先輩は私にこんな
ことして...♡ 先輩は私にこんな
あああん♡ 先輩は私にこんな
なんで私にこの気持ち教えて
くれなかつたのか...?)

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡



ひぎいいいい
お、奥にささるううう
痛いのか気持ちいのかわからない
これ以上はダメ…
おマコがギチギチになってる
頭の中がぐちゃぐちゃになってる
私：興奮してる
喜んじやつてる
この男の…

ん

ん

ん
ん
ん
ん
ん

ん
ん
ん
ん
ん

ん♡

（あああああ………♡
おっぱい出てるううう♡
令呪つてすごい……♡
こんな事もできるんだ♡
ああん♡
ああんおっぱいも♡
おま○こも乳首も全部♡
ぜんぱあ♡私エッチな体♡
なっちやういしました♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

あぁん♡

（ああああ……ああああ……
たまってらううう♡♡♡♡♡
こんなに出されたらあ♡あ♡
絶対妊娠しちゃううう……♡♡♡
あ……あれ？何でだろう……♡♡♡
こんなことされちゃったのに♡♡♡
すつごく嬉しいの……♡♡♡♡♡
もつと……もつと注いでほしい……♡）

あま♡

あま♡
あま♡

あま♡

あま♡



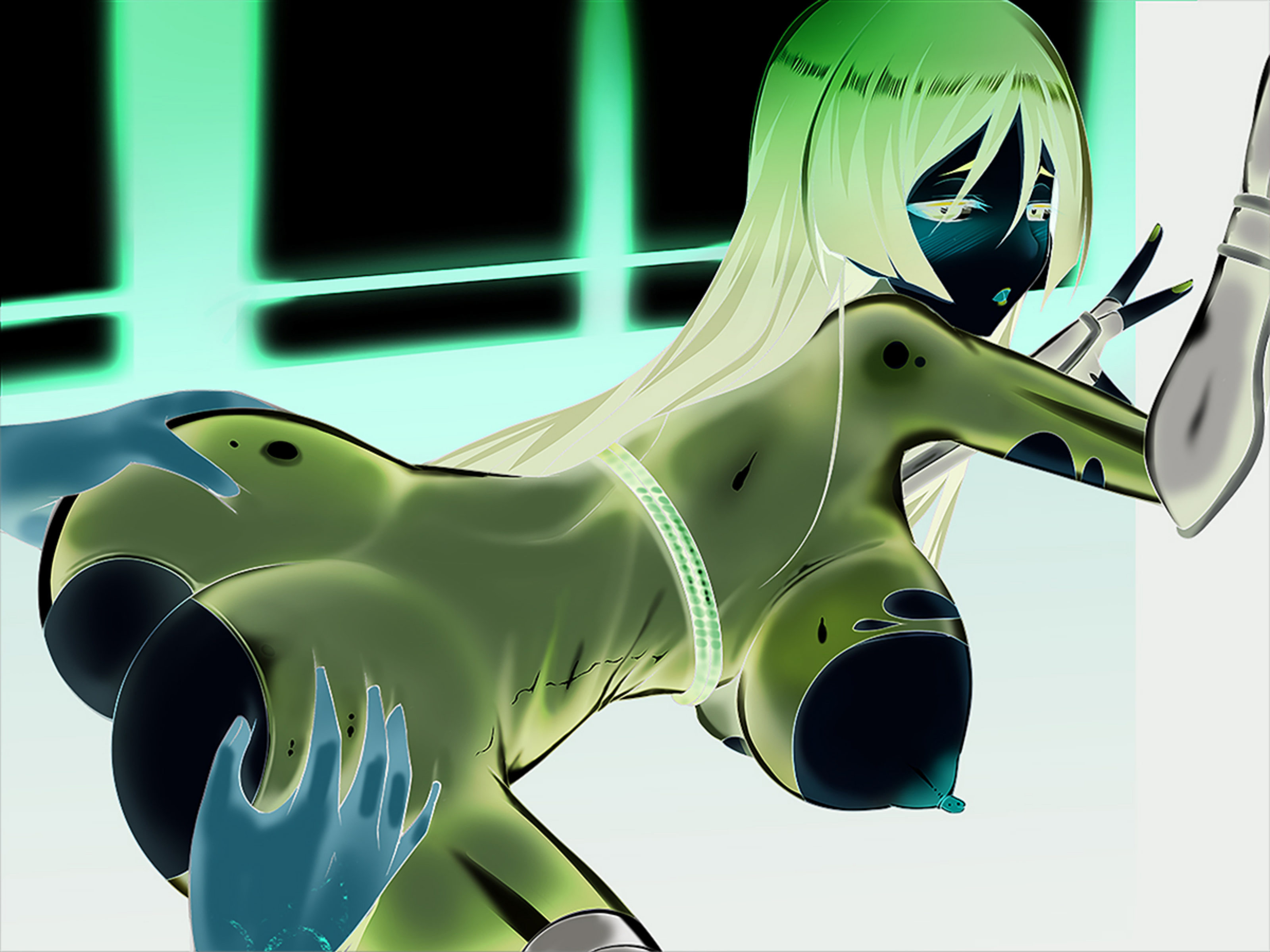


(ああ…先輩♡♡♡ごめんなさい♡
わたし…この人のサーヴァント
になります♡♡♡いままで
ありがとうございます♡♡♡
マシユはもうこの人の女なんです
おち○こに勝てないダメ女です
でも心配しないてください♡♡♡
私は今とっても幸せです♡♡♡)

























(あああ…私、なぜこんな下賤な男に
このような格好でこのようなことを…?
なぜ逆らえないの…? えっ? あれって
…令呪? なぜこんな男が? マスターは?
私のマスターは何処に…?)



— 呪いを持って命ず

俺の女になれ—



(な、なに…？ 今のも令呪？
そんな漠然とした命令が有効なわけが…ッ
…えッ！ 嘘…！ なんて…！
こんな男が…愛おしく見える…？
な、なんで？ …私のマスター…？
…ご主人様？ ちがうちがう！ 私のマスターは…
私の… ああああ…♡♡♡)

わ



はぁぁ♡♡♡

はぁぁ♡♡♡

キゅん♡♡♡

キゅん♡♡♡

(はぁぁ……♡♡♡♡♡はぁぁぁ♡♡♡♡♡はぁぁ♡♡♡
だ、だめ……♡♡♡♡♡なんでかしら……？
胸がきゅんって……♡♡♡♡♡欲しくなってる♡♡
こんな小娘みたいな反応しちゃうなんて♡♡
これも令呪の効果あ……？ あぁぁ♡♡♡
だめだめ……♡♡♡♡♡マスター以外に魅を
捧げるなんて……♡♡♡♡♡ ますたぁー……？
あれ？今のますたーは…… この方……？)



ああん♡♡♡

ゴクッ♡♡♡

しゅん♡♡♡

ブル♡♡♡

ブル♡♡♡

しゅん♡♡♡

~~~~~♡♡♡~~~~~  
は、挿入ってきたああ~~~~~♡♡♡  
お、大きい♡♡♡こんな大きい初めて♡♡♡  
やだぁ♡♡♡私ったら喜んでじゃってる♡♡♡  
でもこれはすごいのお……♡♡♡  
こんなイチモツ感じないほうが無理ッ♡♡♡  
~~~~~♡♡♡~~~~~




あぁん♡♡♡♡♡

あぁん♡♡♡♡♡

あぁん♡♡♡♡♡

あぁん♡♡♡♡♡

あぁん♡♡♡♡♡

あぁん♡♡♡♡♡

あぁん♡♡♡♡♡

あぁん♡♡♡♡♡

